

平成26年8月19日からの大雨被害対策

(NO.1)

	8月19日(火)	8月20日(水)	8月21日(木)	8月22日(金)	8月23日(土)
災害状況	○午後8時30分以降、安佐北区・南区をはじめ記録的豪雨を観測	○未明に大規模な土砂崩れ発生。多数の行方不明。 1時間に130mmの豪雨。	○被害拡大、県内最大級。死者39名、行方不明51名。	○災害から72時間。断続的な雨で作業が難航。死者41名、行方不明47名。2257名避難。警察・自衛隊・消防約2700人態勢	○死者49名、行方不明41名。警察・自衛隊・消防約3000人態勢。ボランティア1300名。特殊救助隊も被災地入り。
本会対応		○災害対策本部設置 ・情報収集、指揮命令系統の確認 ・身元確認チーム、口腔ケアチームの検討 ・サンスターへの物資依頼	○避難所への支援検討 ○8/20 厚生労働省保険局医療課「被保険者証の定時等について」(事務連絡)を会員通知	○「義歯の取扱いについて」会員通知 ○県警からの依頼による身元照会(1名+46名)を会員通知	○サンスターと協力し避難所4か所に歯ブラシの無償提供
身元確認対策				○検視開始 ・広島中央署 19:00 1体検視(本山、山崎) ・現地で1体検視(河崎)	○検視 ・岡村歯科医院でカルテ照合
口腔ケア対策					
その他		○会員、家族、従業員に被災者なし ○事務局1名、避難勧告地区に居住 ○厚生労働省保険局医療課「被保険者証の提示等について」(事務連絡)	○広島県健康福祉局健康福祉総務課厚生推進グループより、災害時公衆衛生チーム派遣準備依頼		○犠牲者の中に、県歯科衛生士連盟会長(藤井弥生)を確認 ○西村内閣府副大臣視察

平成26年8月19日からの大津波被害対策

(NO.2)

	8月24日(日)	8月25日(月)	8月26日(火)	8月27日(水)	8月28日(木)
災害状況	○降雨・土砂捜査を阻む 死者50名、行方不明38名	○死者58名、行方不明28名。(不明28名の名前公表)	○災害発生1週間。死者66名、行方不明21名。	○土石流・崖崩れ112ヶ所判明。 死者71名、行方不明11名。	○死者72名、行方不明4名。
本会対応			○全会員へ口腔ケアボランティアの要請案内		
身元確認対策	○検視 ・本山歯科医院でカルテ照合	○検視 ・広島西署 13:00 1体検視 (本山、山崎、中島) ・安佐南署 13:00 1体検視(片山、三島)	○検視 ・片山歯科医院でカルテ照合	○検視 ・安佐南署 13:00 1体検視(本山、山崎)	○検視 ・安佐南署 13:00 2体検視 (本山、山崎、三島)
口腔ケア対策					○口腔ケア開始 ・梅林小学校 30名 (三反田、藪、DH5名) ・佐東公民館 15名 (三反田、藪、DH2名)
その他	○安倍首相視察	○安倍首相、復旧作業で国の補助率を引き上げる「激甚災害」に指定。政府の現地対策本部に被災者支援チームを設置。	○広島県後期高齢者医療広域連合より、一部負担金の減免について通知		○サンスターから義歯用ケース・義歯用歯ブラシ・義歯用洗浄剤の無料提供 → 避難所に配布

平成26年8月19日からの大雨水害対策

(NO.3)

	8月29日(金)	8月30日(土)	8月31日(日)	9月1日(月)	9月2日(火)
災害状況	○死者72名、全員の身元判明。八木地区2名は行方不明のまま。 警察・自衛隊・消防3400人態勢で捜査	○避難勧告・指示一部解除。 行方不明依然2名	○安佐北区16地区、安佐南区2地区の避難指示・勧告解除。 行方不明は2名のまま	○JR可部線復旧。 避難所となっていた5小学校が授業再開。 行方不明は依然2名。警察・消防・自衛隊2700名体制の捜査続く	○避難指示全て解除。一部は継続。行方不明の操作は依然続く。 市は無償提供民間住宅が市内に約5900戸あると発表。
本会対応	○県警からの依頼による身元照会(1名)を会員通知 ○義援金100万円を決定				○県歯会職員会より中国新聞を通じ義援金持参
身元確認対策					○広島大学・神奈川歯科大学と検視について打合せ(デジタルペンの活用について)
口腔ケア対策	○口腔ケア ・梅林小学校8名(三反田、八谷、DH4名) ・佐東公民館8名(松本、DH2名)	○口腔ケア ・梅林小学校15名(林、DH3名)	○口腔ケア ・梅林小学校22名(藪、DH5名)	○口腔ケア ・梅林小学校16名(小羽田、DH5名)	○口腔ケア ・梅林小学校17名(杉岡、DH5名)
その他					

平成26年8月19日からの大雨被害対策

(NO.4)

	9月3日(水)	9月4日(木)	9月5日(金)	9月6日(土)	9月7日(日)
災害状況	○土砂災害後、最も警戒を要する天気予報がされたもの二次被害の報告なし。行方不明者の捜索は難航	○土砂災害による雨水管の被害が少なくとも28ヶ所に上がることが判明。二次災害に繋がる危険を危惧。行方不明者は依然発見されず。	○広島県・市 災害復旧工程表策定。10月上旬までに宅地・道路の土砂をほぼ撤去。ライフラインを修繕し避難勧告も順次解除する方針。行方不明者は依然発見されず。	○土砂災害で流された車両の取扱いに慎重になったため行方不明の捜査に支障が出たことが判明。行方不明者は依然発見されず。	○5日に策定された被災地の土砂撤去について見通しが立っていないことが判明。行方不明の捜索は2200人態勢。
本会対応	○本会より中国新聞社を通じて義援金100万円持参	○四役会・理事会において今後の口腔ケアを協議。対策本部が日曜日に再度現地に入り、今後の計画を決定することとした。			○対策本部より三反田専務理事が口腔ケアにあたるとともに、周囲の状況視察
身元確認対策					
口腔ケア対策	○口腔ケア ・梅林小学校12名 (川本、DH4名)	○口腔ケア ・梅林小学校12名 (釜山、DH4名予定)	○口腔ケア ・梅林小学校11名 (宇都宮、DH4名)	○口腔ケア ・梅林小学校8名 (DH5名)	○口腔ケア ・梅林小学校4名 (三反田、DH4名) ※梅林小学校は8日より授業再開
その他	○二次避難所への口腔ケアを含む支援体制について県医務課と打合せ。医療関係者での情報の共有を確認。			○山谷えり子防災担当相が被災地視察。国・県・市が一丸となって支援することを強調	

平成26年8月19日からの大雨被害対策

(NO.5)

	9月8日(月)	9月9日(火)	9月10日(水)	9月11日(木)	9月12日(金)
災害状況	○広島市は避難勧告等地域防災計画に基づく初動対応を検証する組織を設置する考えを表明。行方不明者の捜索は、2050人態勢で継続	○行方不明のうち1名を発見。使者73名に。残り1名の捜索は3120人態勢で。広島市は非常災害現地対策本部を縮小。	○昨日見つけた1名の身元が確認。被害家屋は4540軒に上がるという調査結果を公表。避難所で過ごす避難者数は70世帯108名	○土砂災害発生から23日目。市は有識者でつくる「非難対策等検証部会」を初会合開催。市の初動対応の検証を本格化。来年3月までに地域防災計画を見直す。	○行方不明は依然見つからず。広島県は県民・事業者・防災団体などと連携して「災害死ゼロ」県民運動に取り組む方針を固める。
本会対応	○災害対策本部会議を開催。今後の対応を協議 → 今後は、保健師の要請により口腔ケアチームの派遣を決定				
身元確認対策	○中国新聞社より、警察歯科医会についての取材申し込みあり。本山専任理事対応	○行方不明1名が見つかったことで出務態勢を取るもののDNA鑑定になるとの情報	○広島県警察歯科医会の活動について、読売新聞社が取材		
口腔ケア対策					
その他			○非難勧告時、避難所全てが未開設であったことが判明	○天皇・皇后両陛下が被災地を見舞われる方向で宮内庁が検討。来広の際には平和公園で供花も。	○広島市は1世帯当たり一律10万円とする義援金の申請受付を開始。初日は516世帯申請。湯崎知事は天皇・皇后陛下並びに総理にも現況報告。

平成26年8月19日からの大雨被害対策

(NO.6)

	9月13日(土)	9月14日(日)	9月15日(月)	9月16日(火)	9月17日(水)
災害状況	○900名態勢で捜索継続。安佐南区八木地区が土砂災害防止を目的とした保安林に指定されていないことが判明	○子どもの一部に心の不調。専門家は心的外傷後ストレス障害(PTSD)への進行を懸念する声も。行方不明者は依然見つからず	○行方不明者は依然見つからず 900名態勢の捜索が続く。安佐南区6ヶ所の避難所には47世帯67名が身を寄せる状況	○広島県は国に対し、土砂災害で大きな被害が出たエリアを「特別警戒区域」に指定申請 残る行方不明者の大屋弘子さんは依然見つからず	○広島市は市議会定例会に257億6200万円の災害関連予算の議案を提出。 大屋さん、依然見つからず。
本会対応			○広島県主催、個別訪問により支援を行う保健師研修会(避難所から帰宅・転居された被災者への心身のケア等)に出席		
身元確認対策					
口腔ケア対策					
その他	○土曜日から始まった一次義援金請求に399世帯が申請	○ボランティアセンターに1366名。 高校生災害復興支援ボランティア派遣隊がお好み焼きを振舞う	○第一次義援金の申請は1551世帯に	○第一次義援金の申請は1722世帯に	○日本サッカー協会から亡くなった平野遥大君と都翔君に日本代表のユニフォームを贈った

平成26年8月19日からの大雨被害対策

(NO.7)

	9月18日(木)	9月19日(金)	広島土砂災害の主な被害状況
災害状況	○大屋弘子さんとみられる遺体が発見される。これで死者総数は74名。 依然として80名あまりが避難所生活余儀なくされている	○広島県警は見つかった遺体を大屋弘子さんと断定。 広島市は、安佐南区・安佐北区の宅地に流れ込んだ土砂の約9割を撤去したと公表。	<ul style="list-style-type: none"> ○死者 74名 ○負傷者 44名 ○避難対象者 2335名 ○避難者 81名 ○避難所 7ヶ所 ○家屋 <ul style="list-style-type: none"> ・全壊 33件 ・半壊 122件 ・一部 174件 ・床上浸水 1300件 ・床下浸水 2811件
本会対応		○最後の行方不明者が見つかったことで対策本部を開催。今後は状況をみながらその度対応を考えることとし、対策本部は一応解散。	
身元確認対策	○遺体が見つかったとの報道で身元確認班に待機を命じたもののDNA鑑定になるとの情報		
口腔ケア対策			
その他			

